

掛合小学校 校報 ましみず

<第7号>

平成25年11月発行

平成25年度・学習発表会を終えて……

11月16日に、たくさんの保護者の皆様、地域の皆様に来ていただいて、学習発表会を行いました。それぞれの学年の子どもたちが、自分たちの特長を活かし、しっかりと発表ができたと思います。この発表は、国語、社会、生活、総合的な学習の時間など、1学期から学習してきた内容の総まとめです。まとめることも大切な活動ですが、それを多くの方々の前で発表することは、一人一人の表現力を高めることにもつながっています。

当日は、体育館の後ろまで響く声で、堂々と発表できた子どももいました。この学習発表会で身につけた力をこれからの学校生活でいかしてほしいと思います。保護者の皆様、地域の皆様には、ご支援、ご声援いただきまして、誠にありがとうございました。



がんばる「かけやの子」<表彰関係・その2>

◎税に関する絵はがきコンクール 入選 岡田明莉さん 坂口陽希さん

原子力災害防災訓練……11月5日に、雲南市内全ての保育所・幼稚園・小学校・中学校において、原子力防災訓練を行いました。これは、島根原子力発電所でトラブルが発生した際に、迅速に避難できるための訓練です。当日は、教育委員会から連絡を受け、素早く体育館に避難できましたが、このような災害が起きないように、細心の注意を払っていただきたいと思います。

なお、避難指示など重要な情報は、雲南市から住民広報（告知端末など）やテレビ、ラジオなどを通じてお知らせがあるそうです。国や地方自治体からの情報、指示等に従い、冷静に行動することが大切です。

人権集会……全校児童が体育館に集まり、人権集会を行いました。事前に各学級では、人権についての話し合いを行いました。その話し合ったことを全校の前で学級ごとに発表し、全校として気をつけることを確認しました。話し合ったことが生かされ、いやな思いをする子どもが少なくなるように、日々努力して行ってほしいと思います。

集会後は、各学級で作成した掲示物を校舎内の廊下に貼りました。学級で話し合ったこと、全校で話し合ったことが一人一人の心に響き、周りの人を大切にする気持ちをもって、毎日を過ごしてくれるとうれしいと思います。



☆飯石地区更生保護女性会様から図書カードをいただきました。子どもたちの読書活動の充実のために大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。

学習公開・学級懇談会……

10月の授業公開を行いました。9月は運動会に保護者の皆様に来ていただいたので、授業を見ていただくのは1学期以来、久しぶりでした。どの学年も、それぞれ工夫を凝らした授業で、子どもたちも真剣に、また楽しく課題に取り組んでいたように思います。

本校では、学級によっては、2学期になって少々落ち着きのないクラスもあります。保護者の皆様の前では、きちんとできているようですが、日々の授業では、そうでない状況もあります。教員が楽しく授業に取り組ませる工夫を行うことも大切ですが、子どもたち一人一人が自覚をもって、しっかりと学習に向かう姿勢を身につけてほしいと思います。



お弁当の日……

2学期の弁当の日を行いました。小学校も中学校もいっしょになって取り組みました。子どもたちは、それぞれ自分の思いを大切にしながら、計画的にお弁当作りに挑戦したと思います。アイデアいっぱいのお弁当は、さぞかしおいしかったことでしょう。

また11月9日には、雲南市の教育フェスタの一環として、「広がれ弁当の日」の事業がラメールで開催されました。県外から著名な講師の方々がいっしょに、弁当の日の意義を参加者全員で確認し合いました。保護者の皆様には、ご協力いただきましてありがとうございました。

音読集会……

10月の音読集会を行いました。はじめに全校で10月の歌を歌い、今月の詩を、声を合わせて読みました。最後に、2年生が、今月の代表として覚えた詩を大きな声で読み上げました。長い詩でしたが、大変よく頑張って覚えたと思います。子どもたちや教職員から、温かい感想がたくさんありました。

音読を通して、集中力や表現力を養ったり、聴く態度を育てたりしていこうと思っています。



読書週間……

10月27日から11月9日までの読書週間の取り組みの一つとして、5年生が、図書館クイズに挑戦しました。はじめに学校司書から説明を聞き、問題に答えていきました。普段は使い慣れている図書室ですが、改めて考えてみると気づかないこともいろいろあったようです。これを機に、さらに本に興味をもってほしいと思います。

「叱ること」ができていますか？……「褒めることで子どもは伸びる」のは当然のことで、学校でもできるだけ褒め、認めてあげる機会を多くもつように教職員全体で努力しています。しかしながら、子どもたちの日々の学習の様子、生活の様子を見ていると、叱らなければならない場面がときどきあります。もし叱らないでおけば、「これは許される。」「他の人もやっている。」と間違った認識をもってしまうこととなります。学校でも、家庭でも、いけないことはいけないときちんと伝えることが大切だと思います。学校と家庭とがいっしょになって子どもの指導に当たりたいと思います。ご理解のうえ、ご指導よろしく申し上げます。